

報告

「2022 年度 技術士 CPD 発表会」参加報告

相原直浩

1. はじめに

技術士の資質向上を図るための継続研鑽、CPD (Continuing Professional Development) は、技術士法で責務と位置づけられ、2021 年からは、新たに技術士の CPD 活動実績の管理及び活用制度が始まりました。

こうしたなか、(公社)日本技術士会 CPD 支援委員会では、技術士の業績・研究を発表するための「技術士 CPD 発表会」を設け、技術士自らの業績を発表する意欲を高めるとともに、他の技術士の業績や活動を知る機会を提供しています。

2022 年度の発表会は、「リスクマネジメント」をテーマに令和 4 年(2022 年)12 月 17 日に開催され、私は応用理学部門の技術士として発表する機会を得ました。そこで、発表会当日までの経過など報告しますので、皆様の CPD 活動の参考としていただければと思います。

なお、今回は、Microsoft Teams による会員向けオンライン開催、発表は Microsoft PowerPoint を使用するほか、発表 15 分、質疑応答 5 分の持ち時間が与えられました。

2. 応募から発表までの流れ

発表会は、技術士会正会員または準会員を対象として 7 月 14 日～8 月 29 日に WEB 上でのエントリー受付(先着 40 名)、その後、応募シート(A4 版 1 枚)を 9 月 6 日までに提出、「技術士 CPD 発表会発表者選考要領」に基づき、CPD 支援委員会で最大 10 件程度の発表が選考されます。

また、発表者選考要領の選考基準は、次のとおり定められています。

- ・テーマに沿った内容か
- ・他分野の技術士にも分かり易い発表を想定か

- ・技術士 CPD に必要な視点が重視されているか
- ・社会への貢献がみられるか

選考通過者には、CPD 委員会から発表依頼の通知(10 月 13 日)とともに、当日メール配信する発表概要(A4 版 2 枚)の提出要請(12 月 5 日期限)があり、さらに発表会当日までに、プレゼン資料を事務局に送付することとなります。

今回の発表会においては、エントリー 21 名の内、応募シート提出 18 名、選考通過 10 名、発表者 10 名となりました。

3. 発表に向けた準備

発表者募集の周知メール受理後、前回出場時(2019 年度第 37 回)の発表経験や、発表者の多くが、企業や国などの研究機関や製品等開発部門などに所属されていることを考慮の上、「リスクマネジメント」に関するミクロかつローカルな技術課題の解決に向けた取組「雨量予測情報と流域雨量指数を活用した防災対応」をテーマとすることにしました。

エントリーシートの作成にあたっては、箇条書き骨子と結論に関するグラフの掲載にとどめ、選考結果の通知を待つこととしました。

選考通過と発表依頼の受理後は、これまでの異常気象時等に収集した国土交通省や気象庁の HP で公表している水文・気象データを整理し、発表時に使用するグラフの作成を進めました。

概要提出期限のせまる 12 月上旬より、勤務地の道北地方日本海側では暴風雪が続き、吹雪や雪崩などに関する防災対応が続くなか、直前の休日を利用して概要を仕上げ事務局に送付。引き続き、プレゼン資料を作成し、発表会の前日になんとか事務局への提出を終えました。

なお、前回の「アイスジャム」に関する防災対応を

報告した際の所属が「オホーツク技術士委員会」であったこと、今回も「ゲリラ豪雨」に対する防災対応について発表することから、テーマの連続性も踏まえ、同委員会の承諾をいただいた上で、このたびも「オホーツク技術士委員会」所属として発表させていただきました(写真-1)。



写真-1 プレゼン表紙(背景：羽幌炭鉱遺構)

また、今回は、発表終盤において持ち時間が不足したことから、発表原稿を13分程度に収まるものとしたほか、ワイド画面对応のスライドとすることで2ページ相当の内容を1枚に盛り込むことで(写真-2)、スライド切り替え時間の節減を図り、さらに発表の後半のスライドについては、時間調整可能な内容としました(写真-3)。

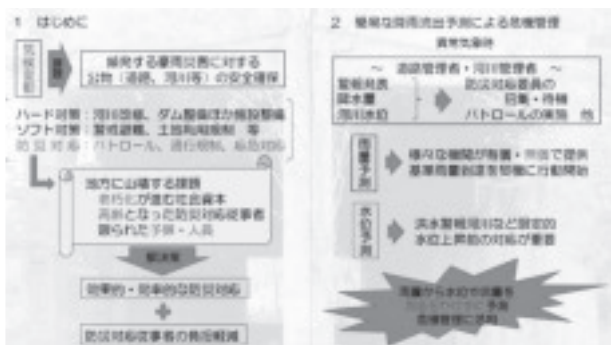


写真-2 プレゼン2頁目(ワイド版使用例)

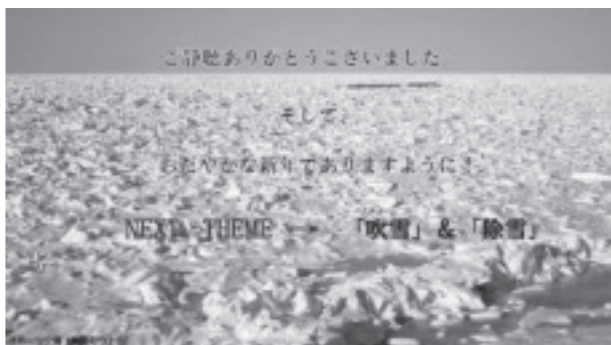


写真-3 プレゼン最終頁(背景：オホーツク流氷)

4. 発表会当日

あらかじめ「Microsoft Teams」をダウンロードしておいたので、午前中から行われた発表者を対象とした接続確認等は概ね順調に終わることができましたが、「Teams」の操作に不慣れなため、他の発表者の皆様もスライド共有等の動作確認などに苦労されていました(表-1)。

表-1 発表者と発表テーマ

| 発表者(敬称略) | 技術部門 | テーマ |
|----------|----------------|---------------------------------------|
| 菱沼一夫 | 経営工学 | プラスチック材を利用した軟包装製品の歴史的課題の革新 |
| 坂井剛太郎 | 建設、経営工学、総合技術監理 | エンタープライズ・リスクマネジメントの潮流 |
| 國井良昌 | 機械 | 国内にライバル無き重機企業における設計書とFMEAによるリスクマネジメント |
| 関口芳弘 | 電気電子 | 瞬低リスクを最小限にする動力制御回路技術 |
| 江崎和博 | 経営工学 | リスク管理の強化に向けた品質統合マネジメント理論の開発と普及 |
| 大利泰宏 | 建設、総合技術監理 | 頻発増大する自然災害へのリスクマネジメント |
| 相原直浩 | 応用理学、総合技術監理 | 雨量予測情報と流域雨量指数を活用した防災対応 |
| 中西弘一 | 生物工学 | 食品における微生物安全保証の考え方の構築と導入 |
| 藤原英司 | 原子力・放射線 | 原子力災害の被災地域における放射線リスク対応事例の紹介 |
| 松井武久 | 機械 | 環境変化とリスクマネジメント |

5. おわりに

このたびの発表会では、企業内技術士の方や技術士事務所を開設された方など、多様な技術部門の方々が参加されるなか、私は、身近な業務上の課題解決の取組を報告させていただきました。発表開始直後には、スライドの切り替え不良もありましたが、無事に発表を終えることができたものと思います。

また、開催方式が、従来の産業振興会館(東京都)における発表会からリモート開催となったことで、臨場感は薄れましたが、会場への移動に要する時間や交通費等のハンデも解消され、道内からのエントリーも容易なものとなりました。

次回開催時には、道内在住の技術士の皆様が発表者として参加され「技術士 CPD 発表会」がより盛大なものとなることを期待します。

相原直浩(あいほら なおひろ)

技術士(応用理学/総合技術監理部門)

北海道留萌振興局
留萌建設管理部羽幌出張所

